京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價（一箇月前金壹圓）（一箇月前金壹圓）（一箇月前金壹圓）（一箇月前金壹圓）
大祭日及ひ日曜日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　一行十七字詰一行一回金五十錢　無報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

特別廣告

小生儀豫て大韓醫院に入院中の處全快退院從前の通法律事務に從事致候

追而新聞紙上小生に關する浮説に付種々御慰問を辱ふし奉深謝候該記事は小生に於て何等の關係無之に付爲念申添候

京城中部磚洞十一統一戸
辯護士　藤井太郎
（電話千六十七番）

千山萬水

▲薔薇の亞流賦

讃美の爛るもの必すしも美からず憎惡の擠すもの必すしも惡からず粗笨の具にして而して遂へられ善美の粹にして却て擯げらるゝもの往々にして之れ有り、何と草て然るか、一は夫れ時流に順ふを以てなり一は夫れ人氣に投ぜざるを以てなり、頃者世の進運につれて か世は方に新聞雜誌の世となり畢ぬるやの觀ある迄に新聞雜誌流行の時代とはなりぬ、殊に雜誌に至ては年に月に續々として目新らしきもの〻發刊せらるゝを見る、東都のみにて其種數の四百を以て數ふと云ふに至ては豈に旺なりと云ふべからずや、然れども其の數の多くして其の裝の美なるに眩惑せられ直に以て其の誌の價値あるものとなし世人の智を磨くに急にして傷を鑽むるに直ありとなすこと勿れ、其の收むる所は什麼其の數する所は甚麼に、一編一冊、擘縮せざるものありやなしや

實業の雜誌工業の雜誌農業の雜誌商業の雜誌乃至は教育政治經濟の雜誌聞みし來らば其誌の本旨何れに在るやを怪しまずんばあらず、其の擬する所卑猥の文字にあらずんば金儲けの甘言ならざるは鮮し、一方に此現實時代に血走れる青年の射德心に投じ奇心を迎へて奇矯の言を吐き異例の倖功を叙する實業雜誌あるかと見れば、一方には青年熱情戀愛に渇せる青年の意を悅ばしむる自然主義の尾籠なる小説猥史になれる文藝雜誌あり、甚だしきは堂々たる政治評論の雜誌にして僅に小説を以て讀者を續き留め居るものありと聞く

實に情なからずや、胃病の兒に飴糖を食はして確心を求め放蕩の子に美女を贈て墨利を貪るに也似たり、人若し其の插む書籍寫眞と廣告の如何なるものなるかを見ば大概は其の内容の如何と讀者の種屬を知るを得べけんかし、然り雜誌は斯の如くにして世に持て囃され售れ高數萬と註せらる、人氣に投じ時流に隨ふを以てなり、人の弱點を抑へて商賣すればなり、雜誌元と是れ一の商賣品なる以上は多く售りて多く儲くるの手段を回らさゝるべからずとは云へ、世の即表木鐸を以て自らず任ずるべからざるものゝ左りとは餘りと云へば餘りならずや、讃美の爛るもの必すしも美からず、雜誌も亦た終に賣藥の流れを掬むか、世を擧げて皆な獨り吾も亦た其の波を揚げざるべからざるか、無人皆な醉はば吾も亦た其の澤を啜らざるべからざるか嗚、

▲新紙も世に阿る

此のたび伊藤公の哈爾賓に兇手に殪てよる祖國數百の新聞を始め在外邦字の新聞に至て迄無茶苦茶に事柄の撰擇なしに公に關する記事を以て殆ど毎日其の紙面の過半を埋む、而して其の半は實に傾斜の卷に關するものたるにあらずや、吁伊公の以前伊公なく伊公の以後又た伊公なけんとまで謳はれる明治一世の伊藤公の死は天下の等しく惜しむ所にして今事新らしく公の性格勳功偉業若くは逸事等を繰り返して語らひ合ふも、せめても心遣りにて、欽慕する公に對する人情の然らしむる所なりとは云へ、其の記事の餘りに無遠慮過ぎるには驚かざるを得ず、此る場合には何も彼も想出の種とはなるものの母家に何女將の愛寵數何狎染の直話何寵妓の物語曰く（何女の話曰く某女の談等賤の双等が宴席に侍しての見聞皮相談を寫し來りて左も手柄顔に長々しく毎日記事の半を盆たすとは呆然たらざらんとするも得ず、天下一品の公も此る尾籠の而も一面皮相の而も偶々以て公の不謹慎とせる此小瑕瑾を摘き來るにあらざれば終に紙表に躍然たらしむるを得ざるか、公の事蹟に就ては今や世人の知るが上にも知らんと欲する所、人傑を理想し膽仰欽慕の情久々に歸省の夢やきぬたの音

旅に居て毋り夢見るきぬた哉　四樂

五六軒拍子そろうや搗衣の音　同

郡逝いて淋しくなりし砧かな　同

長安の天戀ふ妻や小夜きぬた　四樂坊

◎感章

●新公論（十一月號）澤柳氏の警ひべき國民の已德心、三叉の南へ南へ狩野氏の獅持ちと神經症あり殊に讃じべき日本本郷東片町其社△一部十七錢

●實業之世界（八の十二）人氣取りの雜誌雪嶽の寧人道及び商人道の神隨天一の相場師たらんとする青年を誡ひ者など讀じべく三浦將軍縱横談名士と記の快氣烟例に依て面白し△東京芝三島町其社△一部十一錢

●東京經濟雜誌（一五一四）金融の景況關稅問題（二）梅博士の韓國の法律制度に就て（下）大西の帝國主義論スチーヴンソンの鐵道と銀行等重要記事多し△東京橋彌左衛門町其社△一部十二錢

●國粹と實業（四八）韓國鹽業藥業、韓國牛皮に肉て、滿江上流森林伐採經營、鑛韓の事業界、藻洲に於ける韓國米等韓實業協會

●實業之世界（八の十一）人氣取りの神隨天一の相場師たらんとする青年を誡ひ者など讀じべく三浦將軍縱横談名士と記の快氣烟例に依て面白し△東京芝三島町其社△一部十七錢

●實業之世界（八の十二）人氣取りの神隨天一の相場師たらんとする青年を誡ひ者など讀じべく三浦將軍縱横談名士と記の快氣烟例に依て面白し△東京芝三島町其社△一部十七錢

●賀易（十の十）田尻博士の關稅改正論其他論壇に調査に通信に纂集內外商工業者有益の記事あり△東京京橋宗十郎町日本貿易博會

●綠熱（一の七）例に依て面白し△東京麻町下二番町其社△一部五錢

●御重寶　皇室皇族一覽明年の路將軍隊配備、郵便爲替貯金振出規則諸印紙稅額運賃物案內等を載す△東京日本橋住吉町住木書店△五錢

俳句

●第七次五吟集

すみれ會

結字　母能意江葉久知美
選左六芝安氣之風

◎きぬた　むら撰

松風の絶間や遠き小夜きぬた　淡水
嫁貰むる姑美くし小夜きぬた　月哉
母家に母の忙しきぬたかな　霞城
子貰に母の忙しきぬたかな　萩水
殿にも負けで新家の砧かな　秋花
殿てる子に氣兼しながら砧哉　出來內
調子能く揃ふ搗衣の遠音かな　淡水
笹は切れ二の矢流れて闇く砧　笹波
殿た母に心して打つ搗衣かな　淡水
氣受よき嫁やきぬたを運べる　玉糸女
手替りに母の起きたる砧かな　萩水
江を抱く塞村更けて遠きぬた　四樂
母家より咲き洩て小夜きぬた　秋花
暫くは風にきぬたの亂てうす　出來內
きぬた打つ母が教訓きく子哉　一止
能い町へ出て遠くなる砧かな　月哉
便やきぬたの二つが不意に休　笹波
機卒へし賢母の夜をきぬた哉　月哉
病む母に心置かるし搗衣かな　胞三
灯のともる茅家六軒きぬた哉　四樂
鉦叩く母の後ろにきぬたかな　六坊
病む母の目覺勝なるきぬた哉　月哉
細き灯の下に母子の搗衣かな　胞三
久々に歸省の夢やきぬたの音　同

第二十二席

伯山改　神田松鯉口演

紀平治は舊丸山にて主君を見失ひ、驚かに近寄ること能はず紀平治は、新かる時の用意にもと身を放さずもち來りし鐵丸に數十丈の綸を付けたるを、泳ぎながらサ急嚢の間より拔出して、左手にて浪を切り右手を高く差揚げて「ヤッ」と云ふ掛聲諸共に彼の鐵丸を船と目掛けて投げ付ければ、固より手練の紀平治太夫、綸の端は手首に留まり鐵丸船の中へハタと計りに飛入るを、爲朝は丁と受止め、徐かに手繰寄せ、紀平治は難なく船に跳乘りたり、爲朝始めて安堵の思ひをなし爲「ヤア美事〻、今日始めて八町礫の腕前を見し

の御寶司、鎭西八郎とは知らず唯の商人と思ひまするから、少しも尊敬の念を挑はず知らぬ顔して風のまに〻走り曳々聲して漕去つて大分に沖の方へ出でました、爲朝は心を焦てども如何とも詮方なく唯心配氣に陸の方を望んで居る、紀平治今は是迄なりと突如て淘然と計りに漫々たる大洋へ身を跳らせて飛入つた、紀平治は固より水練の達人、西海の濱に人となりたれば水を游ぐこと毫に異ならず、浮きつ沈みつ抜手を切つて駛くうちに船の間近まで進んだけれど、浪高くしてなかなか

ぞや」と賞めました、船中の人々は紀平治の水練に長けたのを見て是れも大海の人は能く水に慣したりと云ふが、斯くまでに水練に妙なる人はまだ聞きしことなし」と口を揃へて申しました、是より爲朝は彼の山にてのこと盡く物語り紀平治も大に悅びまして　紀「先づ御身体に何の御障りもなきは結構にて、又若し百日を過ぎなば上皇へ對しても父に對しても相濟まず、紀平治は此國に馴れたる者なり、假令藥置くとも歸りまして幾日か経過ぎ、船は無事に薩摩に來るならんと直ちに其の船に乘れば、船夫は忽ち帆を張り舵を取つて東北望み疾く漕出しました、所が彼の八町礫の

太宰府に留守せし忠國と白縫の兩人、爲朝の打立てより後絶て何等の音沙汰もありませぬから、大に心配し、多くの家臣と諸共に或は海神に祇禱し或は神社に幣帛を奉り只願遠かに歸給はむことを祈り居られます、又都にても爲朝朝臣に於かせられては、早馬を以て歸國の有無を問はせられる段々と百日間近かに相成つたので一同の心配と云ふものは容易でない、斯かる所へ早打の使一騎薩摩國より來り「寛は御曹司よりの御使にて候が、御船恙なく薩摩灣へ着し無事にて御歸國の注進に參り候」と云ふ口上、之れを聞いて一同もも皆凋める草木の甘雨に遇ひたるが如く、忠國は五十人を率して馬を牽き轡を扛せて途中まで出迎ひ、白縫は衣服を改めて待てば、やがて爲朝は太宰府の館へと歸り白縫は門前まで出迎ひを致し無事を祝し夕刻よりは祝ひの酒宴を開らかれ、紀平治の妻八代は花やかに扮裝つて銚子土器を持ちて出で席上の周旋を致します、何しろ御曹司の無事御歸館と云ふのではなか〻大酒宴、一同萬歳を唱へました

廣告

當事務所今回司法權委任の實施と共に便宜上左の地に出張所を開設し一層誠實熱心を以て法律上諸般の鑑定代書及び測量事務に從事す

明治大學出身
增本好三郎事務所
京城旭町一丁目二百八十二番戸（慶支部官舍向）（電話千五十番）
事務所
出張所　京城鐘路通一丁目（京城地方裁判所前）

出張所開設廣告

業務擴張ノ爲メ左ノ處ニ移轉シ諸般ノ法律事務ニ從事ス

京城長谷川町一丁目
辯護士　前代議士　**大久保雅彦**
（電話八九三番）

京城
廣江商會
電話五七六番

入院隨意
菅醫院
電話九六〇番

京城西小門通六番戸
醫學士　佐佐木醫院
佐佐木四方志
（電話八一二番）

製造發賣　元カバン商　鈴木定吉
京城明治町一丁目

特許　專賣　特許壹萬八八八六號
手提荷締具
（圖るたみたた）
東京芝區通新町五番地ミコシ商店
用に堪ゆる儀に目方六貫目內外の重量を携ふるに足る
（圖るめため）（荷を締る）

●体裁頗る優美なる●商工業諸君の日用具として輕便無比なり●學生諸君の通學に最も必要なり●官吏會社諸君の出張用に便益大なり●一般家庭の進物用として最適當なり●構造堅牢にしてニッケル製塗料製共に永久の使

（第三種郵便物認可）　明治四十二年十一月六日　京城新報　（土曜日）　第二百五十七號

東京通信

隨行員の不心得

井武士道的の動作

哈爾濱に於て伊藤公が暗殺せられたることに就て、隨行員の動作は何人も浩歎の聲を發せざるものなからむ、渠等の行動は眞に日本男兒として恥づる所なきか、余輩は渠隨行員等の非武士道的の行動に唾棄せざらんとするも夫れ得可けんや。

伊藤公は常に近親に向て何れに至るも死の覺悟あるを語りしとかや、されば公に隨行するものは可れも亦此覺悟なかるべからず、然るに何ぞや渠隨行員にして一人として、公と死を共にする覺悟あるものなかりしに非ずや、若し夫れ渠等にして常に此覺悟ありしとすれば、先づ第一に發砲したる兇漢を取押へざるべからず、然るに渠等は狼狽して兇漢を取押へざるのみならず、進て公の身を擁護したるものもなし、兇漢は却て露人によりて取押へられたりと云ふに至りては、日本男兒として平生其勇を誇るもの露人に對しても赧然たらざるを得ず、武士道を以て誇りとせる日本男兒の顏に汚しにあらざるか、余輩は返すがへすも渠隨行員等の爲に惜まざるを得ざる也。

渠等は平生無事の日に於ては、公の威を藉りて得々として人に對するも、一朝斯る事變に際すれば斯の如く狼狽して、他の爲す所を知らざると云ふに至りては、如何に之を辨解するも非武士道の賊りは到底免る可らざる也、若し夫れ古の武士ならば其場に割腹して殉死すべし、若し夫れ古の武士ならば其主公の身を掩ふて矢玉の衝に當る可し、而して今回公に隨行したるものは概して平生公の恩寵を蒙れるもの多く決して普通一片の隨行員には非ず、此點よりするも第一の發砲に於て渠等は公の身を擁はざる可らず、然るを二番三番迄も此擧に出でざりしは全く腑甲斐なきこと云はざる可らず、斯る輩は公が得意のときに於ては、所謂虎の威を藉りて驕態を演ずるが常也、遭難當時に於ける伊藤公も必ずや渠等の腑甲斐なきを歎せしならむ。

清國某新聞に掲げられたる遭難當時の挿畫に、渠隨行員が愴惶狼狽逃走せる所あり、果して渠等が斯く見苦しく狼狽逃走せしや否は知らざるも、兎に角一人の公の身を擁護して矢表に立ちしものなく、亦其兇漢を捕へしものなしと云ふに至りては、眞に非武士道的の動作也、斯る輩が幾人隨行したりとて何等の効なし、余輩は渠等を驚しひと共に、爾後の爲に此言を爲す者也。

東京市報

▲大演習の御統率

大元帥陛下には本日宇都宮停車場御發輦、黑磯驛下車其より高久村野立所にて奥參謀總長より各軍の行動を詳細聞召され戰況御覽ありたり此日寒氣嚴烈土氣大に振ふ（六日）

▲取引所理事長

選任　昨夜東京米穀取引所は臨時總會を開き株式會社重役の改選を行ひたるが松澤興七氏理事長に當選せり（同上）

▲安奉線守備隊

問題　日清協約にて未解決なりし安奉沿線守備隊問題は近日奉天に於て協商開始せらるべし（同上）

▲内相以下免官

運動　朴内務大臣、岡内部次官、松井警務局長を懲戒免官に附すべしとの議起り東京新聞記者團は運動を開始すべし（六日午後日本電通）

▲三井家の見舞金

三井家にては伊藤公に對し金二萬圓を送ることに決せり（同上）

▲伊藤博邦の歸朝

公爵嗣子伊藤博邦氏來る二十一日敦賀到着の豫定なり（同上）

歐州電報

▲露帝の引見拒絕

露國皇帝陛下はオデッサに於て波斯廢帝との個人的引見を拒絕せり（五日東京經由）

▲リーブ種族平和

西班牙國はリーブ種族と平和條約を締結する條件として鑛洛哥に於ける同國の領土擴張を要求せり（同上）

▲連合計畫の延期

露國の計畫たる芬蘭ワイボルグ政府との連合は延期せらる（同上）

▲露國明年度豫算

は大藏省に於て種々の項目より一億九千萬馬克を削除したるが爲め歲出入相平均するに至れり（同上）

雜報

國葬當日の光景

（前代未曾有の盛儀）

故大勳位伊藤公の國葬は豫定の如く去る四日を以て日比谷公園祭場に於て執行せられたり公は維新元勳の首班國家柱石の重臣にして勤王開國の皇謨に贊し立憲を全ふし內にありては大鼎政機を執り外に於ては隣邦扶植を樹て眞に一代の大政治家にして勳績共に世界の欽仰するところなりしが不幸滿洲視察の途兇漢の爲めに殪る因報一度至るや提くも　陛下には軫念し給ひ國葬を命じ給ひ恩詔極る列强皇帝父或は特使を派して弔意弔詞を送るに至りて所謂虎の威を藉りて得々として人に對するも、一朝斯る事變に際すれば斯の如く狼狽して、他の爲す所を知らざると云ふに至りては、如何に之を辨解するも非武士道の賊りは到底免る可らざる也、若し夫れ古の武士ならば其場に割腹して殉死すべし、若し夫れ古の武士ならば其主公の身を掩ふて矢玉の衝に當る可し、而して今回公に隨行したるものは概して平生公の恩寵を蒙れるもの多く決して普通一片の隨行員には非ず、此點よりするも第一の發砲に於て渠等は公の身を擁はざる可らず、然るを二番三番迄も此擧に出でざりしは全く腑甲斐なきこと云はざる可らず、斯る輩は公が得意のときに於ては、所謂虎の威を藉りて驕態を演ずるが常也、遭難當時に於ける伊藤公も必ずや渠等の腑甲斐なきを歎せしならむ。

清國某新聞に掲げられたる遭難當時の挿畫に、渠隨行員が愴惶狼狽逃走せる所あり、果して渠等が斯く見苦しく狼狽逃走せしや否は知らざるも、兎に角一人の公の身を擁護して矢表に立ちしものなく、亦其兇漢を捕へしものなしと云ふに至りては、眞に非武士道的の動作也、斯る輩が幾人隨行したりとて何等の効なし、余輩は渠等を驚しひと共に、爾後の爲に此言を爲す者也。

東京市報

▲大演習の御統率

大元帥陛下には本日宇都宮停車場御發輦、黑磯驛下車其より高久村野立所にて奥參謀總長より各軍の行動を詳細聞召され戰況御覽ありたり此日寒氣嚴烈土氣大に振ふ（六日）

▲取引所理事長

選任　昨夜東京米穀取引所は臨時總會を開き株式會社重役の改選を行ひたるが松澤興七氏理事長に當選せり（同上）

▲安奉線守備隊

問題　日清協約にて未解決なりし安奉沿線守備隊問題は近日奉天に於て協商開始せらるべし（同上）

▲内相以下免官

運動　朴内務大臣、岡内部次官、松井警務局長を懲戒免官に附すべしとの議起り東京新聞記者團は運動を開始すべし（六日午後日本電通）

▲三井家の見舞金

三井家にては伊藤公に對し金二萬圓を送ることに決せり（同上）

▲伊藤博邦の歸朝

公爵嗣子伊藤博邦氏來る二十一日敦賀到着の豫定なり（同上）

歐州電報

▲露帝の引見拒絕

露國皇帝陛下はオデッサに於て波斯廢帝との個人的引見を拒絕せり（五日東京經由）

▲リーブ種族平和

西班牙國はリーブ種族と平和條約を締結する條件として鑛洛哥に於ける同國の領土擴張を要求せり（同上）

▲連合計畫の延期

露國の計畫たる芬蘭ワイボルグ政府との連合は延期せらる（同上）

▲露國明年度豫算

は大藏省に於て種々の項目より一億九千萬馬克を削除したるが爲め歲出入相平均するに至れり（同上）

雜報

國葬當日の光景

（前代未曾有の盛儀）

故大勳位伊藤公の國葬は豫定の如く去る四日を以て日比谷公園祭場に於て執行せられたり公は維新元勳の首班國家柱石の重臣にして勤王開國の皇謨に贊し立憲を全ふし內にありては大鼎政機を執り外に於ては隣邦扶植を樹て眞に一代の大政治家にして勳績共に世界の欽仰するところなりしが不幸滿洲視察の途兇漢の爲めに殪る因報一度至るや提くも　陛下には軫念し給ひ國葬を命じ給ひ恩詔極る列强皇帝父或は特使を派して弔意弔詞を送るに至りて所謂虎の威を藉りて得々として人に對するも、一朝斯る事變に際すれば斯の如く狼狽して、他の爲す所を知らざると云ふに至りては、如何に之を辨解するも非武士道の賊りは到底免る可らざる也、若し夫れ古の武士ならば其場に割腹して殉死すべし、若し夫れ古の武士ならば其主公の身を掩ふて矢玉の衝に當る可し、而して今回公に隨行したるものは概して平生公の恩寵を蒙れるもの多く決して普通一片の隨行員には非ず、此點よりするも第一の發砲に於て渠等は公の身を擁はざる可らず、然るを二番三番迄も此擧に出でざりしは全く腑甲斐なきこと云はざる可らず、斯る輩は公が得意のときに於ては、所謂虎の威を藉りて驕態を演ずるが常也、遭難當時に於ける伊藤公も必ずや渠等の腑甲斐なきを歎せしならむ。

清國某新聞に掲げられたる遭難當時の挿畫に、渠隨行員が愴惶狼狽逃走せる所あり、果して渠等が斯く見苦しく狼狽逃走せしや否は知らざるも、兎に角一人の公の身を擁護して矢表に立ちしものなく、亦其兇漢を捕へしものなしと云ふに至りては、眞に非武士道的の動作也、斯る輩が幾人隨行したりとて何等の効なし、余輩は渠等を驚しひと共に、爾後の爲に此言を爲す者也。

熊谷民長の話談

熊谷民長が退職を申出られたるに付

儀仗兵一萬

の多きを以て前代未曾有の祭典たるを知る甚詳細は到底筆紙の盡すところに非ず今其の大要を報せんに國葬當日は朝來雲雲低く垂れ薄市曇濛として天公も又熊公の死を悼ひるものゝ如し

▲祭式前の官邸　靈前坂の官邸にては拂曉より祭官葬儀係は其他の諸員諸般の準備に從事し時間の漸く移るに從ひ元老元帥親任官以下高位高官の歷々相次で參邸し馬車人力車の往來塔歩絡繹

▲柩前祭と遷祭　午前七時を報ずるや祭場の裝飾殘なく整頓し終るや佐々木副祭主先づ清祓を爲し靈代を柩前壇上に安置し喪主家族親族の方々手家祭主以下祭官葬儀係眉床を終るに至れば祭官神饌數台を祭主副祭主之を柩前靈代の御前に供し此間奏樂古樂を奏して人故公爵令息眞一末松子西源四郎氏井上侯井上勝之助子博邦氏の兄兒玉義太郎兄森祐三郎伊藤家の本家戸主林文太郎氏何れも大禮服徒歩にて諸員之に從ひ次に兩皮葬床家從伊藤文吉氏は喪服に悄然として伏目勝に歩を進め家中家族親族親戚又次に滿州隨行員葬式係に次き大勳位親任官同待遇公爵從一位勳一等勅任官侯爵正二位勳任待遇伯爵子男從四位勳三等奏任官從五位勳五等貴族院議員衆議院議員東京市長大禮服燕尾服にて徒歩次に特別の由緒ある諸氏之に次き儀仗兵の內海軍兵一大隊歩兵一箇騎隊騎兵一騎隊近衛野砲兵一中隊騎馬の警視警部護衛したり而して儀仗兵の大部分は菱橋內より內幸町邊迄二重に整列せしめたる行列の盛大なる未曾有にして路選一二十五丁

寸分の餘地

なく行列の先頭日比谷祭場に到着せるは午前七時にして全部行列の入場せるは同十一時なりき

▲東京市の雜觀　朝來この偉人の古今未曾有の大葬典と拜せんとて靈柩返官邸より日比谷祭場に集るもの數幾十萬

最後の歷史

を飾りて光輝赫灼たらしめ百万の人士は斯の如くにして長へに地下に眠れり

偉人

千古の

聖恩の鴻大

なるに感きたらんが如く數萬の會葬者は人神感格の境に入りて肅然たり殊に愁雨細やかに弔旗風に飄る音のみ悲しく中々に哀悼の極みなりき

▲靈柩は午後一時式場を出發し大井村谷垂の墓地に向ひたり埋葬場の入口には門を設け天幕を張り中央數百間の廣場に八棟の帷舍を立て幔幕を張り廻らし孔穴は九尺四方の大さにして其中央には石棺あり棺は高さ九尺幅五尺四寸にして更に厚さ三寸の中箱を入れ靈柩を其中に收めたるもの石棺周圍には木炭百五十貫石灰五石を入れたり弔砲悲しき間に靈柩は定めの高所に安置し增上寺の管長堀大僧正十一名の番僧を從へて讀經をなし頗次禮拜滑事にて柩を孔穴に收め喪主文吉氏鍬を執りて土を蔽ひ博邦氏夫人令妹末榊氏夫人西源四郎氏同夫人井上侯夫人其他親戚の人々土を掛け全く埋葬を了りたるは午後五時なりき、

▲英靈長に眠る　靈柩は午後一時式場を出發し大井村谷垂の墓地に向ひたり埋葬場の入口には門を設け天幕を張り中央數百間の廣場に八棟の帷舍を立て幔幕を張り廻らし孔穴は九尺四方の大さにして其中央には石棺あり棺は高さ九尺幅五尺四寸にして更に厚さ三寸の中箱を入れ靈柩を其中に收めたるもの石棺周圍には木炭百五十貫石灰五石を入れたり弔砲悲しき間に靈柩は定めの高所に安置し增上寺の管長堀大僧正十一名の番僧を從へて讀經をなし頗次禮拜滑事にて柩を孔穴に收め喪主文吉氏鍬を執りて土を蔽ひ博邦氏夫人令妹末榊氏夫人西源四郎氏同夫人井上侯夫人其他親戚の人々土を掛け全く埋葬を了りたるは午後五時なりき、

千古の

偉人

聖恩の鴻大

なるに感きたらんが如く數萬の會葬者は人神感格の境に入りて肅然たり殊に愁雨細やかに弔旗風に飄る音のみ悲しく中々に哀悼の極みなりき

▲

無害ノ煙草ヲ御照會致シマス
EDP金口莫
直輸入商 御賣 小賣 日希商會
洋金口莫 葉巻 パイプ
主任メニヤス
電話二三二番
不拘多少御用命仰付被下度奉願候

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十六號

民長鮎谷頼太郎ノ辭表提出ヲ許ス

日居留民會ノ承認ヲ經テ退職シタリ

明治四十二年十一月六日

京城居留民團民長代理

助役　林田茂七郎

福井茂兵衛優（九）

▲當地興行座に出演する獄中では芝居の便りを聞くを楽みに日々苦役に従事し出獄の來るを相折り數へて待つて居たのです、僕は早なかつたけれども一座の俳優達が一人として藝の是非は偖置き舞臺上の格好さへ取れたものなく恰度劍舞に殺の生たやうなもので芝居としての價値は零であつたけれ共、何しろ壯士芝居といふ名が呼び物となつて人氣沸くが如く花井卓蔵から「身を殺して仁を爲す」との意味で教唆を描いた引幕を贈るとか、河岸から稽物をするとか、團十郎や菊五郎が大勢の弟子を引連れて見物に來ると言つた樣に意外の大成功を遂げたそうです、開演中面白かつたのは確か初日の晩でした何の幕か記憶ませんが場幕から大勢巡査の扮装して出た處が見物は無論表方までもそれを眞物と誤解しスワ一大事と大騒ぎの滑稽をやつたとか聞きました、彼此する内に出獄したので依然僕が大夫元となつて第二回も引續き同座で狂言は矢野文雄の「經國美談」依田學海の「後日の楠」と上場し第三回は「江藤新平」「久保田彦作の「嵯峨」の暴動記」を上場したが同一回と度を重ねるに從つて舞臺上の經驗も積み各自に工夫もするので自然と芝居らしく見へ日を逐よて入場者をした、併し乍ら團菊の名優を見馴れた東京の人が珍らしがればこそ觀に來るので迚も向ふを張つて怎うの怎うのと騒ぐ資格は全然ありやしない、だから國に乘つて長居は失敗の原因と飽かれぬ間に切り上げて地方巡業と出掛け桐生、足利、宇都宮、仙臺、福島を興行してうの年の十二月十五日横濱へ乘込み「嵯峨の暴動記」を演つた、横濱は僕に取つて最も深い縁故のある所柳染の土地柄の事とて壯士等の義理見物多くれ蔭で音尾よく打揚げ二十五年一月六日鳥越の中村座に歸り福地櫻痴の書卸した「平野次郎」七幕を上場した、次で三月八日猿若町二丁目の市村座に移り「鈴國攘夷後日譚」を一番目に据ゑ、中幕に久保田米僊作「隅後三郎」切は「曇水の川上に宮士を異向の笑波山花宴劇一座」といふ長ったらい題を置て開場した、二の替りは五月十日初日で「旦那はいけない私は仇」と岩崎鼎花生「公襲」を演して居ると京都の安田が変況があつて同座打揚後京都の有座へ乗込んだ（ママ）

雑貨商店の破産

▲雑貨の高いは是が爲め頃日來京城及龍山に於て小雑貨商、酒味噌、醤油商の破産事件頻々たりより此の間何等かの事情の潜めるものあるべしと種々探索の手を延ばけたるに驚く可き事實を發見したり今左に其の概要を摘記せんに小商人等は

▲卸商人の競爭を利用して僅少の資金を分割提供し……例へば資金百五十圓ならば之れを三分して五十圓に延ばし置き愈々となれば貨物家財を債權者たる卸商人に投出し開業以來

▲種々奮勵努力したるも目下の不景氣に逐はれ華客よりの回收思はしからず此の上營業を持續せば猶更に諸君に迷惑を掛けざる可らざれば不本意ながら閉店致すこと幾分其の罪を輕くする途なるべし夫れに就ては貨物家財等此の儘御引渡し申すべければ何卒此れに御勘辨下されたしと

▲腹中密吐紅舌　ながら疾勝らしく泣き付きて其同情を買ひ保證金支拂損をして賣り上げ金は着服して表面の破産同樣なるに似て秘密は顯々なるもの殆んど其の悉くなりと云ふに至るも自然と逃する所に依れば富然非常の損失を蒙りては驚かざるを得ず、然るに更らに驚くべきは卸商人の策略なり、以上記君に迷惑を掛けざる可らざれば不本意ながら閉店致すこと幾分其の罪を輕く渡坂したる上ならでは判明せず私共は貨商に僅かの保證金を引當とし比較的多額の貨物を仕送ることなれば三割五割の懸値をして更に其正味を減ずることなりされば損をするの用言を得て何所の馬の骨やら分明ならざる小雑貨商人は滿足するなり

▲龍山赤瓢破産　龍山元町二丁目の赤瓢事秋吉藤四郎は同地に於て本月三日破産を宣言したりとの事なるが其破産が果して不正なるものとは信じ難し同人は既に仁川にて料理店及雑貨商を營み居たる由にて其の際も殆んど相似たる閉店を為したる者なりと云へば其の眞相を知るに難からずと云ふ

京義線列車内の出火

▲食堂車附屬厨房より一昨夜新義州發南大門着直行列車が金村驛を通過したる九時二十五分頃中央の連結車より炎々たる火焔暗空に沖せるを乘客の一人が認め何事ならんと窓押開き注視すれば正しく滿車火事なるより時節柄暴徒の襲來ならずやと打驚き大聲擧げて乘務員に急を告げ進行を停止して出火車に馳せ集り漸く消止めたるが原因は食堂車の附屬厨房に於て石炭の過熱より該車の天井に燃へ移りたる爲にして格別の事もなかりし由なるが一時は非常の大混雑を極めりと

●三寸の右目出度　仁川敷島遊廓朝日楼の抱娼好三子と云へば元女役者でありし丈け藝もあれば口も達者、加之に酒は何奇りの好物で遊廓内に猛々女郎の評判喧すしかりしが今回政會社の運輸係長さんに奇麗薩張り洗つて貰ひ猫とおやれて暮す粋な境遇となつたりけるが長續きがすればよいが妻らぬ心配をして居る人の噂をチヨツコン斯くの如し

●他人の妻を戯る　仁川新昌洞安盛志方に滞在中の熊本生れ國田正吉（三）と云ふは昨日午後四時頃熱酔の餘り飲水をば右安の妻なるものに求めし處亭主の不在中は一切他人の吩咐を守る譯に行きませぬと取合はざりしにそ柳眉を逆立てゝ怒り何を生意気な事を吐かすぞと云ふより早く足に腰部を蹴飛ばせし騒きに警官出張正吉は愁々不心得を諭さる

●警察の手で歸國　北海道生れの石崎源太郎（三）と云ふは本年九月十八日懲へんばかりの希望に憧れて渡韓したるも恰好の職業に有り付かず空想と現實とは大變なる差ありて甘い儲けもなきのみならず其日を暮すにさへ困窮を感ずるに至り掲へて加へて脚氣に襲はれて起居さへ不自由となりしかば昨日仁川署に其旨訴出で保護を受けて内地に立歸りたりとぞ

●仁川藝妓腕比べ　仁川花柳界に亂れ咲く解語の花が我劣らじと腕に捻を懸けて競ひに競へる先月中の席順（ニ）と云ふは昨日午後四時頃熱酔の餘り飲水をば右安の妻なるものに求めし處亭主の不在中は一切他人の吩咐を守る譯に行きませぬと取合はざりしにそ柳眉を逆立てゝ怒り何を生意気な事を吐かすぞと云ふより早く足に腰部を蹴飛ばせし騒きに警官出張正吉は愁々不心得を諭さる

●警察の手で歸國　北海道生れの石崎源太郎（三）と云ふは本年九月十八日懲へんばかりの希望に憧れて渡韓したるも恰好の職業に有り付かず空想と現實とは大變なる差ありて甘い儲けもなきのみならず其日を暮すにさへ困窮を感ずるに至り掲へて加へて脚氣に襲はれて起居さへ不自由となりしかば昨日仁川署に其旨訴出で保護を受けて内地に立歸りたりとぞ

●他人の妻を戯る　仁川新昌洞安盛志方に滞在中の熊本生れ國田正吉（三）と云ふは昨日午後四時頃熱酔の餘り飲水をば右安の妻なるものに求めし處亭主の不在中は一切他人の吩咐を守る譯に行きませぬと取合はざりしにそ柳眉を逆立てゝ怒り何を生意気な事を吐かすぞと云ふより早く足に腰部を蹴飛ばせし騒きに警官出張正吉は愁々不心得を諭さる

●科料金一束　佐賀縣平民當時京城長谷川町一丁目番戸不詳飲食店前山つげ（三）は其筋の許可を受けずして營業をなせしに廉に依り三十錢を△烏取縣平民當時長谷川町二丁目十五番戸飲食店峠常太（ロ）は酌婦岡田たつの（三）の屋出を怠りたる廉に依り五十錢を何れも昨日南部署にて科料處分せられたり

●新町の健康診斷　昨五日新町遊廓の健康診斷所に於て娼妓の健康診斷を行ひたる處機關部故障の爲め入院せる夏子、頓子、春香、春人の四組は退院し運びに至らず受診妓總計百八十七人中病氣休業其他を除き健康者は百七十一人なりしと云ふ

●敷島遊廓の揚饗　仁川遊廓の娼妓八十二名に對し昨日定期檢梅を行ひたるに第二朝日の笑鶴及び小鶴入院し洗滌を要するものは敷島支店の菊江外四名ありしと

●先月中の敷島遊廓　仁川敷島遊廓

花月楼　小花形　高

に於ける先月中の總客數は一千二百八人にして此費消高四千五百八十九圓七十二錢五厘なりしと

●鶴を盗まる　大和町大韓病院長官舎内に飼養せる鶴一羽昨夜何者とも知れず密かに掻浚ひたりとは物語めきたる窃みなり

●中券の新妓（三）は藝名伊達子と呼び大坂市平民香川縣平民小田みさを（三）は藝名伊達子と呼び大坂市平民中券に顕れ粋様のね召に應すとなん

●色町だより　昨夜新町遊廓の色餓鬼は七十人散財高五百廿七圓六十五錢

●岸川菓子店移轉　永樂町赤門横に岸川菓子店は業務の擴張に伴ひ店舗の手狭を感じたるより本町五丁目堀原陶器店跡に移轉し九日より開業する由なるが當日より向ふ三日間添物として饅頭等の製菓を一般華客に進呈すと

●寺院の伊公追吊會　京城各宗寺院は來る七日午後二時より南山本願寺別院に於て伊藤公追吊會執行する由にて一般の參拜は隨意なりと

●明日の各教會　旭町メソヂスト教會にては午前十時半より禮拝、説教午後七時より説教あり、旭町四丁目京城日本基督教會は午前八時半より日曜學校午後八時より傳道説教あり月の出町京城基督教會にては午前九時日曜學校同十時禮拝説教午後七時半傳道説教ある筈

▲壽座　福井、伊東合同劇團七日及び明後八日の替りは第一、愁劇「波の寄邊」七場中幕、元祿快、擧、外錢「土屋主税」二場第二、傳道説教あり旭町四丁目京城日本基督教會は午前八時半より日曜學校午後八時より傳道説教あり月の出町京城基督教會にては午前九時日曜學校午後七時半傳道説教ある筈

演藝

▲壽座　福井、伊東合同劇團七日及び明後八日の替りは第一、愁劇「波の寄邊」七場中幕、元祿快、擧、外錢「土屋主税」二場第二、傳道説教あり旭町四丁目京城日本基督教會は午前八時半より日曜學校午後八時より傳道説教あり月の出町京城基督教會にては午前九時日曜學校午後七時半傳道説教ある筈

●明治町の寄席　野村吉三郎氏吉及田氏の共同經營の下に先般來其筋の成を急ぎつゝありし明治町三丁目の寄席は目下既に八分通り其の工を了へ今日は只だ小造作の一二を餘すのみなるが今其の管理の任に當れる吉田氏に就て聞き得たる所を記さんに野村氏等が席亭建築を志したる動機は常地興行物の觀覧料多く高きに失し一般勞働者及び其の家族に娯樂を與ふる能はざるのあるに出でたるものなれば木戸錢下料とも合せて十五錢を上さいる考へにて複敷も格別の座料と云ふ程のものは徴せず一人五錢或は十錢位に止めの火鉢蒲團代とも一人前廿錢もあれば一夕の樂を盡すを得べくし出演者も滿韓を股掛けての渡り者は一切御免蒙り一箇月更代位にて大阪、東京の本場より時に或は浮れ節、或は落語、仁和加等第一流の藝人を聘する事に決定し居れるが初興行が何日頃に成るかは一度渡坂したる上ならでは判明せず私共は助義、れもちや加代、一駒栄代、小富美（舞）千代田、千多、香取（義）桜助若奴、三吉鹿島、丸奴（舞）桜子、桃太郎（舞）桜子、桃菊、千代子（舞）、八重山、富久之助義、れもちや加代、一駒栄吉、小鶴、愛子、小梅、米蝶鈴子、定奴、五郎、光子、ほの子、桃太郎（舞）桜子、桃菊、千代子（舞）、八重山、富久之助義、れもちや加代、一駒栄吉、小鶴、愛子、小梅、米蝶鈴子、定奴、五郎、光子、ほの子、桃太郎（舞）桜子、桃菊、千代子（舞）、八重山、富久之助義、れもちや加代、一駒栄代、小富美（舞）千代田、千多、香取（義）桜助若奴、三吉鹿島、丸奴（舞）

稼山勞働者受給

稼山金鑛に於て勞働に從事したる日韓人に對し鑛主より給料支拂を遅滞したる爲め先頃紛擾を起したる事ありしが其後米國領事館の手を以て右問題の解決を爲し數日前同領事館の手を經て各勞働者に向つて全要求額七千圓を支拂ひたりと云ふ

●傳馬船を拾得す　仁川万石町木材會社内桶野成一と云ふは昨日萬石町海岸に於て傳馬船一隻を拾得したる旨其筋に届出でしが所有者は今に判明せずと云ふ

●活動寫眞の好評　仁川歌舞伎座に於て一昨夜より蓋し明けたる名優演劇活動寫眞會は韓國にては未曾有の觀物として初日以來ヤンヤ〳〵の好評を博し彼處の床屋此處の風呂屋に於ける評判は素破らしきものなるが一昨夜は松風村雨を序幕より鳴物及び假色入りにて演じたるに觀客は何れも舌を捲いて感嘆せざるはなく れ蔭で久しか振に高田劇を觀るを待つと悦べる向きもありと尚は今晩は寫眞を入れ替へて繼續院長兵衛を出し明晩は例の琵琶歌會にては午前十時半より禮拝、説教午後

轉居

南山町一丁目八十四番戸　花田節

廣告

龍山新市街山下町　隨意……入

内科 小兒科 眼科　原醫院

移轉開業廣告

弊店儀是迄赤門横に於て營業罷在候處今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉改革をなし來る九日より開業可仕候間舊に倍し一層御引立の程奉願上候

尚開業當日より向三日間御披露の爲め聊か添物進呈仕可候

京城本町五丁目（梶原陶器店跡）

和洋菓子餅商　祝　岸川商店

一等賞牌受領

御簞笥御婚禮道具一式

確實廉價堅固謹製荷造入念師進可仕候

營業目録御入用の節は無遠慮御申越下されば早速無料御送付可申上候間御用命被仰付度候

東京日本橋區小傳馬町一の三

東京上野俥小路帝國博品館内賣店　伊勢喜

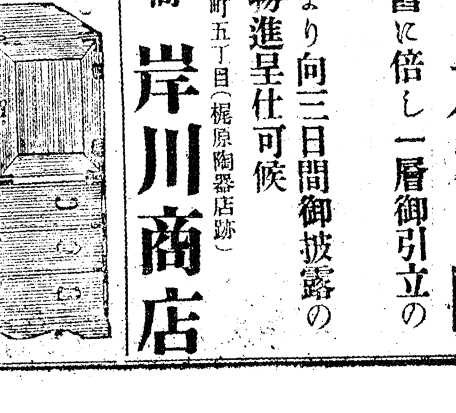


図　佐藤簞笥店

韓國要覽

朝鮮雑誌社編纂　發賣

帝國新版

洋装一冊紙數四百餘頁　定價金壹圓　郵税十錢

目次概略

第一章　地理（位置、面積、區劃、人口、觀察府（理事廳、警察署、憲兵隊）、裁判所、郵便局、諸官衙所在地●第二章　官制及俸禄、官署分課、韓國政府及秋監府議出入豫算、國債●第三章（農業）耕地、面積、産額、各種商道の平原、田制、田畑、種類、小作制度、土地賣買價格、農産物●第四章　工業、綿布、絹布、苧麻布、花莚、染色、金屬器、木竹製品、絡細工、製紙、陶磁器、國産酒類の製造、日本及歐米人の經營工業、城壁、日本人側の諸工場、官營工業●第五章　商業、韓國の外國貿易、日韓貿易、商業、金融、税關、度量衡、商町○九二丁目五番目●第六章（林業）森林、開墾、鴨綠江沿岸の森林、植林の經營、成林地の保護、森林●第七章　交通及通信、鐵道、道路、海運、通信、主要地の距離●第八章（水産）水産物、海獣類、魚類、貝類、藻類●第九章　水産物の養殖、水産物製品、鹽業●第十章　森林、開墾、鴨綠、森林補物の森林植林の經營、成林地の保護、森林●第十一章　交通及通信、鐵道、道路、海運、通信、主要地の距離●第十二章（鑛業）全羅、慶尚南道の鑛産、成鏡道の鑛産、砂金の採集法、黒鉛の有望、鑛業許可面積及許可件數、歐米人の經營せる鑛山●第十三章（日本人圏）京城、仁川、釜山、鎮南浦、群山、馬山、大邱、龍山、新義州、咸興、木浦、元山●第十四章（韓國）各居留民團情況及鑛出入豫算、同特別會計歳出入豫算、各居留民職業別調べ、各居留民團區域内外國人、各居留民團、日本人會●第十五章（重要なる條約及諸法令）日韓協約、日韓新協約、居留民團法、韓國特許許令、意匠令、商標令、商號令、新聞、雑誌●第十六章（神社、寺院、本邦人經營幼稚園、圖書館、神社、寺院、本邦人設立小學校、各種學校、本邦人會●第十七章（本邦人設立小學校、各種學校、本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第四十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第五十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第六十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第七十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第八十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第九十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百二十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百三十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百四十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百五十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百六十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百七十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百八十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第百九十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百二十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百三十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百四十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百五十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百六十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百七十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百八十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第二百九十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百二十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十一章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十二章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十三章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十四章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十五章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十六章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十七章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十八章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百三十九章（本邦人經營工業、城壁、本邦人會●第三百四十章（本邦人經營工

各種洗濯石鹸　専門製造販賣　用途　陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髪、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）　朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●募集　敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滑稽新聞社へ談あれ

●少年入用　十七八才少年入用　大和町一丁目　喬春堂醫院

職業あり十圓の資本にて一日一圓以上の職業有希望の方は御來談あれ　黄金町三番戸　國松　商會

小僧入用　大和町一丁目　藤井出張店

ゲー生者に告ぐ　職名には改投不申候

●小僧入用　京城大漢門前遠藤洋服店

●破産度　年三十工身体強健如何なる勞苦をも不厭相當の勤めを求む　氏名在社（四六七）

●貴子入用　多少商業に經驗ある女子に限る希望者は本人來談あれ　京城大和町一日の出橋際藤井出張店

●植字に慣れたし　給料不菲　氏名在社（四六六）

●小僧入用　年齢十五六歳にして身元引受人ある者二名至急入用　明治町日韓印刷會社

●至急求職　確實なる保證人を有する身體强健なる壯年男兒如何なる勞役にても厭はず至急職を求めたし氏名在社

●郵便務員　相當の教育ある青年至急職を求む　氏名在社（四七三）

物件部

●貸家　南山町二丁目二階建二間温突外八疊敷三間井戸附右今月より貸し家賃廉　氏名在社（五六四）

●電話　未設（不日かゝる分）譲渡し致し　氏名在社（四六二）

●貸家　官吏向二、三、六、八疊瓦葺平家一棟湯殿物置附屋門柿有家賃三十圓　氏名在社（四六一）

●醫院譲渡　京城市内有望の地希望の方は至急申込あれ　氏名在社（四六三）

●京城旭町一丁目四疊半一間時付貸し相可成宜敷望む　氏名在社（四六四）

●電話譲受たし　京城黄金町廿番戸　氏名在社（四六五）

●本町新通一等地商店向帳口二間半奥行間の處洋服裁縫仕立職希望者は綿路赤帽子號高橋方へ急報

●貸家本町通り目抜の場所に付貸家あり希望者は來談あれ　氏名在社（四七〇）

廣告

支那小犬一疋　毛色赤身長一尺牝　右行衛不明の為成候に付發見被下候方には相當の謝礼可仕候　京城　貞洞　ソンタクホテル

診察時間　毎月　自午前時　至午後七時　一日休業

本町二丁目　中村耳鼻咽喉眼科醫院　院主　從七位　醫學得業士　中村健吉

龍山元町三丁目　長尾醫院　院長　醫學得業士　長尾乙二

龍山若松町　島崎鐵工場　電話四四一番

美術書畫　襖、壁、天井張　京城落町一丁目　桂萬吉

營業科目

印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　和洋紙類　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類

各學校御用品調達　諸官衙御用品調達

委託販賣

京東ランバーダ商會代理店　京東中外アスファルト株式會社代理店　京東千代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

京東博文館發行書籍特約店　京東金港堂發行書籍特約店　仙臺鹽合資會社食鹽特約店

本社　京城電話二町目二番　東十丁目（番）

出張所　京橋新橋　京橋電話　新橋電話

齒科療　本町六丁目　ドクトル　中村安子（婦人科）

新形流行御羽織紐　金銀帶〆

弊店の製造品は説明を要せず自ら能く之を語る

御注文の節は遠慮無用にて御送致申候　東京浅草公園馬道一の廿八　三角堂栗原組糸店

品質純良　牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す　各場風に此に留意し含む

木炭　薪　松　堅　松　薪　炭　卸賣販

陸軍諸官衙御用達　南商會　薪炭問屋　同南川出張所　同龍山出張所

廿五日迄開業祝として一割引　かいき、まわた　進物用眞綿、眞綿製防寒具類　京城代理店　栗永商店　京城本町二丁目（長谷川町へ通る）

諸官衙納入多數御入用の節は拙者所有の山林に於て製造仕候間特に勉强致候條多少に不拘御用命被下度願上候　京城中大門外御成町（電話五八七）

眼科專門　京城本町一丁目憲兵分遣所前　醫學得業士　江頭眼科醫院　前漢城病院眼科部長　江頭富雄（電話三三）

京城本町二丁目文那欽子筆　待春日　本店電話五〇番

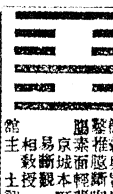
合このしろ　旬　京城本町二丁目

根炭　堅炭　堅薪　松薪　炭石　京城旭町四丁目（電話一九八番）　眞二大吉商店

根炭　堅薪　松薪　炭石　京城江通五丁目　直見商店　電話龍山二〇四番

表具　京城曙町（電話一一八七番）　表具建具　商石川辰次郎

統監府御用　宮内府御用　軸物表装、金銀屏風額面襖壁張天井張雨戸障子硝子戸其他表具建具一式



易斷觀　相數授　土御門派大陰陽師　京城本町五丁目　三二館　館主

表具　美術書畫表装　金銀屏風襖壁天井張　京城本町二丁目　宮内府御用　博物館御用　表具　松月堂

精實を旨とし大勉强仕候也

暖爐各種　煙突取付並ニ煙突掃除大勉强　電四七一番　電三六四番　馬木勇吉　龍山山下町兵器廠官舎邊入口　馬木支店

廣告

京城南山町三丁目（元日本人倶樂部跡）　京城ホテル　長電話一二三番　電話四九二番

廣告部　社　京城本町五丁目角一番戸　馬木支店

廣告信取扱　他廣告取扱　年賀掛賣引換札　各廣告取扱

開業四週年　大賣出し　幣店創開以來四週年繁榮に赴き候段難有仕合に奉存候偖て本月は恰も開業四週年に相當致候に付發見被下候の御愛顧に酬んが爲め一日より一週間を期し破格の大賣出を開始致し候間ケ御下命の榮を賜はり度奉希上候

ロース　廿二錢　並肉　十四錢　鶏肉　三十六錢　上等肉　十八錢　豚肉　十六錢　本町一丁目たからや事　石田精肉店　電話千〇四十二番　石田支店　電話三百二十九番

東京　足袋　正札付大安賣　厘毛引なし安心して買へ升　本店東京　京城大和町一丁目　（日の出橋際）　大和屋　藤井出張店　電話二百〇五番

蒸乳　滋養　消毒　牛乳

京城大和町一丁目　平山牧場　電話一三三

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店　米國ウォルサム時計　米國アンソニヤ時計　獨逸國スカンクヤ自轉車特約販賣店　韓國特約販賣店　時計卸商　仁川本町三丁目　喜多金光堂本店　電話七五〇番　時計卸小賣　京城本町二丁目　喜多金光堂支店　電話千十五番

代理店　京城南大門通三丁目（電話九千四百六十番）　新井藥房本店　京城本町三丁目（電話七四八番）　新井藥房第一分店

薬　特約販賣　醤油　味噌　漬物　製造元　京城本町五丁目　大上商店　（電話二五一番）　自製　和洋酒、醸造酒、穀物麺類銘茶、鑵詰、乾物、食料雑貨、ビール、米糧、塩辛、日本食鹽各種特約販賣商御望に依り商品切手調進仕候